

三宅泰雄, 葛城幸雄, 1970: 最近の日本における放射性塵の降下, 天気, 17, 593-598.  
 —, —, 1974: 最近の  $^{90}\text{Sr}$  降下物の起源, 天気, 21, 639-644.  
 —, —1974: 中国核実験による対流圏降下物の滞留時間, 日本気象学会秋季大会講演予稿集.  
 —, —1976: 中国水爆実験による成層圏降下物の滞留時間, 日本気象学会秋季大会講演予稿集.  
 Miyake, Y., T. Kanazawa, K. Saruhashi and Y. Katsuragi, 1976: A meteorological study on

the local changes in radioactive fallout, Pap. Met. Geophys., 27, 90-98.

—, Y. Katsuragi and Y. Sugimura, 1975: Plutonium fallout in Tokyo, Pap. Met. Geophys., 1-8.

Telegadas, K., 1974: Radioactivity distribution in the stratosphere from Chinese and French high yield nuclear test (1967-1970), USAEC, HASL-281.

## 気象研究ノート既刊号リスト

### 第116号 (1973年11月)

ライダ (レーザーダ) と気象観測

### 第119号 (1974年6月)

都市・建築と気象

### 第121号 (1974年6月)

雲物理特集 I ——氷の物性——

### 第122号 (1974年11月)

雲物理特集 II ——雲核・氷晶核——

### 第123号 (1974年12月)

雲物理特集 III ——雲結晶・あられ・ひょうの生成——

### 第124号 (1975年8月)

流れの可視化法

追補 境界層と乱流

### 第125号 (1975年10月)

海陸風と山越え気流

### 第126号 (1975年11月)

大気中の内部重力波

I. 内部重力波の理論……………田中 浩

II. 超高層の大気波動……………加藤 進

### 第127号 (1975年12月)

1978年11月

### 大気汚染気象特集

大気境界層の拡散に関する構造……………横山 長之

大気中のガスや粒子状物質の変遷……………大喜多敏一

光化学大気汚染に関するシンポジウム

・光化学大気汚染中の反応のモデル化と

その素反応論的基礎……………秋元 肇

・大気汚染物質の分布と気象条件との

関係……………福岡 三郎

・光化学大気汚染のモデリングと

シミュレーション……………木村富士男

・討 論

(付録) 大気汚染気象用語集……………河村 武

### 第128号 (1976年3月)

最近の気象学と気象事業の展望

——気象庁創立百年を記念して——

### 第129号 (1976年9月)

台風特集

第1章 台風の構造と発達力学……………山岬 正紀

第2章 熱帯低気圧の発生と台風観測

……………井沢 龍夫・門脇俊一郎

第3章 台風の進路とその予報

野本 真一・岡村 存

第4章 台風災害

奥田 稜

第130号 (1976年12月)

気象の測定

気象の測定論 齊藤 実

風・温度・湿度及び乱流輸送量の測定

文字 信貴・水間 満郎

大気汚染質の測定 大喜多敏一・川村 清

大気微量成分の分光測定 小川 利紘

大気電気の測定 三崎 方郎

雨滴粒径の測定 後町 幸雄

降雨強度の測定 当含満寿夫

地上からの放射測定に基づく気温の

鉛直分布の測定 嘉納 宗靖

第131号 (1977年5月)

スペクトル解析

・スペクトル解析の方法と

気象要素のスペクトル 花房 龍男

・時空間スペクトル解析法と

大気大循環モデルへの応用 林 良一

第132号 (1977年9月)

気候の物理学的基礎と気候のモデリング

(GARP Publications Series No. 16)

序論と一般的勧告

観測された気候変動の特性

気候のモデル化の基本原則

気候モデルの感度、予測可能性の研究

気候モデルに含まれる物理的、化学的、

生物学的諸過程

観測計画

浅井富雄・朝倉 正・田中康夫・能登正之 訳

第133号 (1977年12月)

都市気候に関する最近の展望

日本および外国の諸都市における

気候の変化 吉野 正敏

都市気候の分布の実態 河村 武

都市気候の成因とモデリング 河村 武

歴史資料による気候変化、米の生

産量、価格、人口などの関連に

関する研究 高橋浩一郎

2次元拡散モデルによる熱使用限界の推定

高橋浩一郎

第134号 (1978年3月)

数値予報

数値予報の歴史的展望 岸保勘三郎

基本方程式とエネルギー論 相原 正彦

積雲対流のパラメタリゼーション 山岸米二郎

境界層の取り扱い 片山 昭

放射による加熱率の差分計算法と

その北半球分布 久保田 効

客観解析法 清水 喜允

4次元同化作用とイニシャルゼーション

住 明正

数値計算上の問題 木田 秀次・岡村 存・

近藤 洋輝・菊池 幸雄

数値予報プロダクトの利用

立平 良三・菊池 正武

予報可能性と延長予報 住 明正

世界のオペレイショナル・モデルの現状

吉田 泰治

第135号 (1978年9月)

海洋力学

総論 吉田 耕造

海洋大循環 高野 健三

海面付近の力学 鳥羽 良明

海洋における地形性モード波 梶浦欣二郎

購入を希望される方は、申込者名・送り先・希望の号と冊数・代金の支払方法を明示して、日本気象学会事務局(〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内)にお申し込み下さい。

また定期購読を指定されれば、以後、発行の都度お届けします。

配付価格

号	122	123	124	125	126	127
通常会員	970	1400	710	1470	650	870
定期購読	—	—	670	1400	600	800
団体会員	1500	2100	1080	2230	1000	1300
会員外	1700	2400	1200	2500	1100	1500
128	129	130	131	132	133	134
2560	2400	1300	670	940	750	4000
2440	2250	1230	640	900	710	3800
3900	3600	2000	1000	1400	1200	6100
4400	4100	2200	1150	1600	1300	6850
						2000